



議員 二角公八 さんむ

山武市の森林再生について

問 今回の台風で、市内の森林は甚大な被害を受けましたが、この森林の再生について市長の考えを伺います。

答 市長 優良な材質で全国的にも知られているサンブスギですが、その発祥地である山武市の森林が、甚大な被害を受けたということで、倒木処理をはじめとした森林整備、森林再生に向けて、県や関係団体と連携しながら取り組んでいきたいと、強く思っています。

問 今回の台風による倒木の問題が全国放送され、木材関係業界などではサンブスギのイメージが低下し、風評被害が広がっていると聞いています。これに対してどのような対策をとっているのか伺います。

答 経済環境部長 サンブスギの溝ぐされ病(非赤枯性溝腐病)が倒木の

原因との報道がありました。それが倒木の発生原因とはいえないとの調査結果が出ています。

木材までもが風評被害にあっている。それを払しょくするため、関係団体との連携を図りながらサンブスギの魅力を発信していきたいと思えます。



サンブスギの森林

問 日向の森では、被害木の伐採やその後の造林についてどのようにするのか伺います。

答 総務部長 まだ全体の被害状況はつかめていませんが、状況により皆伐や植林といった森林の更新が必要な場合が考えられるので、検討していきます。

問 今回の被害木を含めて、日向の森から切り出された木材は、今後予定される公共施設、病院、学校建設などに活用することを考えているのか伺います。

答 総務部長 市では、市の公共建築物等における木材利用促進方針を策定しています。こちらでは、公共建築物等に地域木材を積極的に活用することで、木材の需要拡大と市民への木材利用の普及啓発を図ることとしています。

このようなことから、日向の森から搬出される木材の活用も検討していく必要があると考えています。

問 市内の森林の大半は民有林です。被害を受けた森林を整備していくには、所有者などの意見を聞かないと進んでいかないと思いますが、どのように考えているのか伺います。

答 経済環境部長 先般、森林所有者からの意見や関係機関の現段階での取り組みなどの、意見交換を実施しました。今後は、これらの意見を参考にしながら、山林所有者や関係機関と連携し、森林整備の再構築に向けて進めていきたいと思えます。

問 山武市の森林整備計画の中で、森林は「水源の涵養林」「快適環境林」「保健文化林」「木材生産林」という四つに区分されています。

しかし、市には森林についての専門の技術者がいません。森林整備に関する知識を山武市の林政に反映させるには、山林所有者、素材生産者、木工関係に携わる方々、学識経験者等を入れた審議会を作り、その答申に基づいて森林整備を進める方がよいと思えますが、市長はどのように考えているのか伺います。

答 市長 千葉県の県産材であるサンブスギの被害状況が全国的に報道されましたので、その対応をしっかりと行う必要があります。今後の森林整備については、市には専門の職員等が在籍していませんので、議員提案のとおり、所有者、素材生産者、木材等製材業の方々、関係機関、学識経験者、技術者等による審議会を設立して、審議会の答申に基づき目標を定めたいと考えて、今後の森林整備の計画を進めていきたいと思えます。



日向の森